



関西学生剣道選手権大会

引き寄せた頂点!!



スポーツ専攻4回生 小倉健志選手 優勝!



優勝の記念トロフィーを手に微笑む小倉健志選手と顧問の太田順康教授

三ノヒーロー誕生

剣道部の小倉健志選手(スポーツ専攻4回生)が、4月27日(日)に舞洲アリーナで開催された第62回関西学生剣道選手権大会で初優勝を飾った。関西の個人戦の中で最も大きな大会であり、本学剣道部においても初の快挙だ。

194人もの選手が

出場した本大会での優勝。だが、道のりは決して順調ではなかった。本大会の一週間前に開催された大阪学生剣道選手権大会では2回戦敗退。調子の上がらないまま大会当日を迎えた。しかし、7月の全日本学生剣道選手権大会の出場資格をかけたベスト32の試合以降、すべての試合を延長戦で勝ち抜き、復調していく。決勝戦の相手は、昨年ベスト16で当たり敗戦した因縁の選手。「勝てば優勝ということは考えず、自分の長所を出してこの相手に勝つ」。その思いを胸に決勝に挑んだ。試合は小倉選手のペースで展開し、見事一本勝ちをおさめ、頂点に立った。勝利の瞬間は実感がなかったが、「全国大会への出場権を手にして、喜びが湧いてきました」と感慨深げ。また、「周囲から注目が集まり、剣道の技術面だけではなく、精神面や私生活においても、さらに己の意識を高めていく必要を感じた」と関西王者としての自覚をもった。

全日本選手権では3回戦敗退となったが、同時開催の東西対抗試合では優秀選手賞を受賞する

活躍を見せた。

次のステージへ

小倉選手は和歌山県立桐蔭高校から進学し、剣道部では主務を務める文武両道。小学4年生から地元で剣道を始め、小学校、中学校と団体で全国大会に出場し、高校では国体に出場するなど全国クラスの選手として活躍してきた。しかし、練習のつらさに剣道を辞めようと思ったこともあるという。そんな小倉選手にとっての剣道とは「しんどいけれど、言葉で表現できない面白さ」だ。次なる目標は、第62回全日本学生剣道優勝大会(11月16日於大阪府立体育館)への出場である。大学4回生として迎える秋の団体戦。これまで味わった喜びや悔しさ、そして培った経験すべてをぶつけ、本学剣道部を全国の頂点へと導く。

小倉健志選手成績表

大阪教育大学	1回戦	2回戦	3回戦	4回戦	5回戦	6回戦	準決勝	決勝
選手名	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉	小倉
	××	×	ココ	延×	延×	延×	延×	延×
対戦選手名	谷口	小矢野	瀬下	上島	紺谷	山本	上原	島崎
対戦大学名	大阪医科大学	大阪市立大学	大阪大学	関西学院大学	滋賀大学	関西学院大学	大阪体育大学	関西学院大学

×…面、コ…小手、ド…胴、ツ…突、延…延長戦

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

大教スポーツ

平成26年11月1日(土)創刊号

発行:大阪教育大学体育会 編集長:太田順康(保健体育教育講座教授) 編集委員:井若律(モダンダンス)/中東大輝(体操競技)/久保田真一(男子ラクロス)/笹倉あかり(卓球)/松端伶奈(女子サッカー)/林田孝祐(男子ラクロス)/小島里咲(民族舞踊)/長田佳樹(合気道)/松岡里佳(陸上競技)/乾祐都(L.S.B)

2面	平成26年度上半期 主な成績・活動一覧
3面	第52回近畿地区国立大学体育大会 競技種目別成績/平成26年度下半期 試合・行事日程一覧
4面	ホットニュース/我が体育会～現役生に贈る言葉～/編集後記

体育会会長 男子ハンドボール部 東岸将貢 創刊にあたってのご挨拶



大阪教育大学体育会は、31団体の体育系部活動で構成、運営しています。体育系部活動に入部する際は体育会に入会することになっており、会員になると学内の体育施設を利用することが出来ます。体育会は大学と体育系部活動間の連絡を取り持つ、架け橋的な存在です。さらに、体育系以外の学生にもスポーツ活動を親しんでもらうためにスポーツ祭を開催するなどの取り組みを展開しています。現在、体育会の活動情報が内部のみに収束しているのが現状です。そこで、魅力ある取り組みや優秀な成績を収める部活の存在をOB・OGの方々をはじめ、一般学生、そして体育系の枠を超えて多くの人知ってもらいたいという願いからこの「大教スポーツ」を創刊することになりました。ご一読いただければ幸いです。

平成26年度上半期主な成績・活動一覧

水上競技部女子



第65回関西国公立大学選手権水泳競技大会

13連覇

橋口若葉選手(女子主将)「各部門が自分自身の戦いの中で、自己ベストを更新することができました。連覇は意識しませんでした。結果として先輩方から続いてきた記録を途絶えさせないよう、無事大会を終えたいと思います。」

陸上競技部永田駿祐選手



第67回西日本学生陸上競技対校選手権大会110mH

3位入賞

永田選手「大舞台で経験を積み重ねて精神的に強くなったことが、今回の結果につながりました。率直に嬉しいし、安心しました。秋から主将になるので出場する大会ではすべて入賞し、関西インカレでは総合上位を目標にチームを牽引したい。」

部名	日程	大会名	結果
男子バスケットボール部	6月28日~7月6日	第32回大阪学生バスケットボール選手権大会	4位
女子バスケットボール部	4月19日~5月4日	第35回全関西女子学生バスケットボール選手権大会	3回戦進出
男子バレーボール部	4月13日~5月25日	関西学生バレーボール春季リーグ	2部2勝8敗 8位
女子バレーボール部	4月13日~5月25日	関西女子学生バレーボール春季リーグ	4部2勝5敗 6位
男子ハンドボール部	4月5日~5月18日	関西学生ハンドボール春季リーグ	2部3勝2敗1分 4位
女子ハンドボール部	4月5日~5月18日	関西女子学生ハンドボール春季リーグ	1部3勝3敗1分 3位
	8月3日~8月10日	世界学生選手権大会出場(ポルトガル)日本代表	板野陽(スポーツ専攻4回生)
	6月28日~7月7日	東アジア選手権大会出場(香港)日本代表	真継麻礼・板野陽・高宮咲(以上スポーツ専攻4回生) 堀川真奈(スポーツ専攻3回生)・宇野史織(スポーツ専攻1回生)
硬式野球部	4月5日~5月16日	近畿学生野球 春季リーグ	1部5勝7敗0分 4位
準硬式野球部	3月13日~4月28日	阪神六大学リーグ 春季リーグ	6勝6敗 3位
男子サッカー部	4月5日~9月7日	関西学生サッカー春季リーグ	1部2勝5敗3分 10位(8月31日現在)
	5月18日~31日	第43回関西学生サッカー選手権大会	ベスト16
	7月12日~8月17日	第27回関西学生サッカー新人戦	ベスト16
女子サッカー部	5月18日~6月22日	関西学生女子サッカー春季リーグ	2部Aブロック3勝1敗 2位 総合4位
ラグビー部	5月11日~6月1日	第52回近畿地区国立大学体育大会	優勝
アメリカンフットボール部	6月1日	第60回西日本学生アメリカンフットボール大会	優勝
硬式庭球部	8月10日~15日	第52回近畿地区国立大学体育大会	優勝
ソフトテニス部	5月3日、4日	関西学生春季リーグ	男子6部優勝、女子3部6位
卓球部	8月5日	第52回近畿地区国立大学体育大会	男子・女子 4位
剣道部	4月27日	第62回関西学生剣道選手権大会	優勝 小倉健志(スポーツ専攻4回生)
	7月6日	第61回全日本学生剣道東西対抗試合	優秀選手賞 小倉健志(スポーツ専攻4回生)
柔道部	5月25日	第64回関西学生柔道優勝大会	2部 3位
合気道部	8月2日	創部45周年記念式典を挙行	
空手道部	8月25日	松陽塾空手道オープン交流会	成年男子組手有級の部 優勝 室田将太郎(スポーツ専攻2回生)
体操競技部	8月9日	第52回近畿地区国立大学体育大会	男子2位
陸上競技部	4月22日、5月7日~10日	第91回関西学生陸上競技対校選手権大会	男子1部 総合8位(1部残留)
	7月4日	第67回西日本学生陸上競技対校選手権大会	110mH 3位 永田駿祐(スポーツ専攻3回生)
バドミントン部	4月11日~28日	2014大阪学生バドミントン選手権大会	女子ダブルス ベスト8 田中智子(スポーツ専攻3回生)・山本琴美(人間科学専攻2回生)
水上競技部	7月12日、13日	第65回関西国公立大学選手権水泳競技大会	女子総合優勝、男子総合準優勝
スキー部	2月15日	第87回全日本学生スキー選手権大会	男子3部 スペシャルジャンプ 4位 田中信太郎(自然研究専攻2回生)
民族舞踊部	8月20日~23日	全日本学生フォークダンス連盟夏の大会	参加
モダンダンス部	8月6日~9日	全国高校・大学ダンスフェスティバル神戸	出場
男子ラクロス部			特になし
女子ラクロス部			特になし
弓道部	8月11日~12日	全国教育系大学弓道選手権大会	女子団体3位、個人準優勝 山本翔太(情報科学専攻3回生)
L.S.B			特になし
フィギュアスケート部			特になし

第52回近畿地区国立大学体育大会結果一見

総合成績(男子)

① 総合優勝	大阪教育大学
準優勝	京都大学
3位	大阪大学

総合成績(女子)

① 総合優勝	大阪教育大学
準優勝	京都教育大学
3位	奈良女子大学

競技種目別成績

部名	男女別	順位	部名	男女別	順位
陸上競技	男	優勝	サッカー	男	優勝
	女	5位		女	優勝
水泳	男	準優勝	ラグビー	男	優勝
	女	優勝	卓球	男	4位
野球	男	準優勝		女	4位
軟式野球	男	1回戦敗退	バドミントン	男	3位
テニス	男	優勝		女	3位
	女	優勝	柔道	男	準優勝
ソフトテニス	男	2回戦敗退	剣道	男	優勝
	女	1回戦敗退		女	優勝
バスケットボール	男	優勝	体操競技	男	準優勝
	女	準優勝	ハンドボール	男	優勝
バレーボール	男	優勝		女	優勝
	女	準優勝	弓道	男	9位
				女	12位

平成26年度 下半期 試合・行事日程一見

部名	日程	大会名	会場	部名	日程	大会名	会場
男子バスケットボール部	8月30日~10月12日	関西学生バスケットボール2部リーグ	各大学体育館	剣道部	9月28日	第62回関西学生・女子学生剣道優勝大会	大阪市立中央体育館
女子バスケットボール部	8月30日~9月21日	関西女子学生バスケットボール2部リーグ	各大学体育館		11月9日	第33回全日本女子学生剣道優勝大会	春日井市総合体育館
男子バレーボール部	12月1日~7日	全日本バレーボール大学男女選手権大会	未定		11月16日	第62回全日本学生剣道優勝大会	大阪府立体育館
女子バレーボール部				男子バレーボール部	未定	柔道部	未定
男子ハンドボール部	9月15日~10月18日	関西学生ハンドボール秋季2部リーグ		合気道部	12月7日	大阪武育会総合演武大会	大阪城修道館
女子ハンドボール部	11月22日~11月26日	第50回全日本学生選手権	岐阜メモリアルセンター	空手道部	11月9日	第36回全国国公立大学空手道選手権大会	大阪大学豊中キャンパス
硬式野球部	8月30日~10月7日	2014秋季近畿学生野球1部リーグ	舞洲ベースボールスタジアム他	体操競技部	11月上旬	関西新人戦交流戦	岡山県桃太郎アリーナ
準硬式野球部		特になし		陸上競技部	10月下旬	関西種目別対抗選手権大会	ヤンマーフィールド長居
男子サッカー部	9月14日~11月22日	関西学生サッカー秋季1部リーグ		バドミントン部	11月	関西学生バドミントン新人大会	未定
女子サッカー部	9月14日~11月2日	関西学生女子サッカー秋季2部リーグ		水上競技部	9月5日~7日	第90回日本学生選手権水泳競技大会	横浜国際プール
ラグビー部	9月21日~11月30日	関西大学Bリーグ		スキー部	1月	学生チャンピオンスキー大会	志賀高原
アメリカンフットボール部	9月6日~12月7日	2014関西学生アメリカンフットボールリーグDiv.Ⅱ	王子スタジアム	民族舞踊部	12月6日、7日	関西学生フォークダンス連盟クリスマスパーティ	滋賀県(場所未定)
硬式庭球部	3月上旬	関西学生新進テニストーナメント	万博テニスガーデン	モダンダンス部	2月11日	学生チャレンジプロジェクト企画 発表会	安堂 リビエールホール
ソフトテニス部		特になし		男子ラクロス部	8月中旬~11月上旬	関西学生ラクロスリーグ2部	
卓球部	12月6日、7日	第12回関西学連交流卓球大会	同志社大学デヴィス記念館	女子ラクロス部	8月20日~11月15日	第25回関西学生ラクロスリーグ2部	
				弓道部		特になし	
				L.S.B	11月3日~5日	神霜祭ダンスショー	大阪教育大学柏原キャンパス
				フィギュアスケート部	10月16日	POT競技会	臨海スポーツセンター

ホットニュース 合気道部創部45周年記念式典を開催



合気道は一人ではできない。人との出会い大切に

合気道部は今年、創部45周年を迎えたことを祝して、8月2日(土)に記念式典を挙行政した。現役部員をはじめ、卒業生や師範も迎え50名以上が集まった。

式典では稽古会を開き、斎藤豊師範による指導を交えながら、現役部員と卒業生が汗を流しながら稽古に励んだ。斎藤師範からは「合気道は一人ではできません。だからこそ相手と直接ふれあい、お互いを理解し合って稽古をしてほしい。人との出会いを大切にしてください」との言葉が現役学生に向けて贈られた。

稽古後、場所を太閤園に移し、祝いの席が設けられた。卒業生の次期役職の決定や各代の近況報告が行われた。初代主将の太田正人氏から、感謝の気持ちのこもったビデオレター内で太田氏から稽古の手ほどきを受けた藤本治男氏が感極まり涙する場面も見られた。50周年に向けて、次期OB会会長の白樺光徳氏は「結束をさらに強め、これまで以上に和気あいあいとした合気道部を作っていきますよ」と宣言した。

現在の合気道部が、多くの卒業生や師範の助力により運営されているということを強く感じられる記念式典であった。



▲斎藤豊師範による熱のこもった指導

我が体育会 第1回

長尾彰夫さん (アメリカンフットボール部前顧問・大阪教育大学前学長)



温故知新をテーマに、本学体育会とゆかりのある人にインタビューするこの企画。記念すべき第1回目は、本学前学長で、30年近くもアメリカンフットボール部の顧問であった長尾彰夫さんです。

顧問時代の思い出を聞かせてください。

「部員の統率にとても苦労しました。血気盛んな学生が集まるクラブなので、問題行動を起して活動停止という憂き目に何度も遭いましたが、学内清掃などの奉仕活動に従事させることで、なんとか存続できました。30年間顧問を続けてきましたが、特に嬉しかったことは、学長最終年に入れた

今後のアメフト部に期待することは?

「とにかく怪我をしないでほしい。部員には常々『大きな怪我をするな』と指導してきました。アメリカンフットボールは、サッカー

替え戦を経験し、1部リーグに昇格してくれたことです。関西学生アメフトはプロにも負けないトップリーグですから、苦労しましたが、とても面白いと思います」

やラグビーのように生身の体同士ではなく、防具同士がぶつかるため衝撃が強く、怪我の多いスポーツです。その分迫力があり、とても面白く感じるスポーツではありますが、やはり、怪我だけはしてほしくない。1部リーグに昇格できたらいいというのは正直おまけで、アメリカンフットボールというスポーツを、怪我なく、楽しくプレーしてください」

我が体育会 第1回

編集後記



「大教スポーツ創刊号」はいかがでしたでしょうか?

創刊号作成にあたっては、何もかも一から自分たちで作らなければならず、苦心を重ねました。どのような誌面構成にして、取材・インタビューはどう進めればよいか等、何が正解なのかわからず、手探り状態での舵取りでした。しかし、私たち体育会広報部員を何から何までサポートしてくれた総務広報係の方や、考案者である太田順康教授をはじめ、多くの皆さまのおかげで無事に発行することができました。本当にありがとうございました。

この「大教スポーツ創刊号」が本学体育会の広報活動の礎となり、これからもずっと継続してたくさんの人をつなげる存在となれば幸いです。体育会広報部部長 井若律(社会科教育専攻3回生)